

市町村名	糸満市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光地危機管理対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	総務部	総務課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊き出し資機材等の整備を行う。 整備施設:糸満小学校、真壁小学校、農村改善センター、糸満中学校、兼城中学校、潮平中学校、喜屋武小学校、兼城小学校、高嶺中学校の防災倉庫整備。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	50,269	14,320	15,693		80,282	
	B. 執行済額	49,662	14,314	15,245		79,221	
	うち 交付金充当額	39,730	11,451	12,196		63,377	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	100.0%	97.1%	#DIV/0!	98.7%	
執行状況の説明	ほぼ当初予算のとおりに執行できた。入札により執行額が抑えられたことで、適正に執行できたと考える。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	指定避難所へ防災資機材の整備	目標	3	3	3		
		実績	3	3	3		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所)	目標	3	3	3		
		実績	3	3	3		
	備蓄食料の備蓄率	目標			75%		
		実績			75%		
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	R3年度	R4年度
事業完了後の成果目標	整備した資機材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標		1	1	
		実績		1	0	
		目標				
		実績				
状況説明	【H30年度】 ・地域住民を対象に糸満小学校で避難所運営訓練(津波避難)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。					
	【R元年度】 ・地域住民を対象に避難所運営訓練(土砂災害避難・自主防災組織による炊き出し訓練)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。 不発弾処理に伴う避難所開設(避難所開設に必要な資機材等を準備→メガホン・コードリール)					
	【R2年度】 ・地元住民を対象に総合防災訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練が中止となったことから目標を達成することができなかった。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H30年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。			【H30年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。			
【R1年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。			【R1年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。			
【R2年度】 ・令和2年度はコロナ禍で防災訓練等を実施することが出来なかった。令和3年度においては、防災訓練を実施し適切な被災者支援ができるよう検証していく			【R2年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう適切な資機材管理・定期的な訓練を検討する。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【R1年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【R2年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう、令和3年度の総合防災訓練にあつては、密を作らない工夫や、消毒等を徹底することで安心安全な訓練に繋げる。						

市町村名		糸満市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	糸満のくらし体感施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開		
担当部署	経済部	商工水産課	事業実施 年度	平成 27	平成 30	年度	
				沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本市を訪れる観光客が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	6,782	0	24,536	388,702	420,020	
	B. 執行済額	6,782	0	24,057	386,210	417,049	
	うち 交付金充当額	5,425	0	19,245	308,967	333,637	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	98.0%	99.4%	99.3%	
執行状況の説明	【H30年度】 入札不調により、設計金額の見直しをしたところ、49,952千円の増額となった。また、不測の日数を要したこと から、平成30年度予算(交付金額)を305,647千円繰り越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H29年度	H30年度		
	・磁気探査 ・工事監理 ・施設整備工事の実施	目標	基本設計実施	実施設計の完了	・磁気探査 ・工事監理 ・施設整備工事		
		実績	基本設計実施	実施設計の完了	完了		
	・備品購入の実施	目標			備品購入の実施		
		実績			完了		
糸満のくらし体感施設駐車場用地取得100㎡	目標		用地取得				
	実績		完了				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H29年度	H30年度		
	・糸満のくらし体感施設整備工事の完了 ・備品購入の完了	目標	設計完了	設計完了	1棟		
		実績	完了	完了	1棟		
	糸満のくらし体感施設駐車場用地取得の完了	目標		取得完了			
		実績		完了			
目標							
実績							

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		令和2年度			
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	系満のくらし体感施設の来場者数	目標	11万人		
		実績	7.62万人		
		目標			
		実績			

事業完了後の成果目標	【令和2年度】 ・系満のくらし体感施設について、令和2年3月に建設工事が完了し、令和2年4月から開業している。 ・令和2年4月の供用開始に伴い、令和2年度は11万人の来場者を目標値としたが、目標値に対し約70%の集客数となっている。
	【 年度】
	【 年度】

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【令和2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県全体の観光客数が減少する中で、目標を下回った。 コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言等もあったことから、観光客のみならず、県内からの来客にも影響があったと考えられる。	【令和2年度】 ・アフターコロナを見据え、施設の魅力度の向上及び広報関係の強化を図っていく必要がある。 ・誘客を図るため、イベントを実施する必要がある。
【 年度】	【 年度】
【 年度】	【 年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【令和2年度】 ・施設オープンの際に新型コロナウイルス感染症が蔓延したことで、施設の周知活動等を行うことができなかった。今後はアフターコロナを見据え、市HPや市SNS、民間の情報誌等に積極的に掲載することで知名度の向上を図っていく。また定期的なイベントを開催し、固定客の獲得に努める。
【 年度】
【 年度】

市町村名		糸満市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	省エネ化設備化推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進	
担当部署名	建設部	都市計画課	事業実施 年度	平成 24 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	55,994	66,684	213,590	49,861	386,129	
	B. 執行済額	47,655	40,500	201,541	43,794	333,490	
	うち 交付金充当額	38,123	32,400	161,233	35,035	266,791	
	執行率(%) (B/A)	85.1%	60.7%	94.4%	87.8%	86.4%	
執行状況の説明	・平成27年、平成29年、平成30年度は指定管理者による施設利用者との調整に不測の事態が生じ、工事期間を延長する必要が生じたため、翌年度に繰越を行った。 ・最終的な執行率は86.4%となった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			○年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	西崎運動公園のLED化	目標	-	・実施設計 ・特別単価調査 ・整備工事	117灯		
		実績	-	・実施設計 ・特別単価調査 ・整備工事	117灯		
	西崎運動公園大型照明施設省エネ化	目標	-			・実施設計 ・整備工事	
		実績	-			・実施設計 ・整備工事	
	西崎プールボイラー省エネ化	目標	-				・実施設計 ・整備工事
		実績	-				・実施設計 ・整備工事
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			○年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	・西崎運動公園内のLED化に係る実施設計 ・西崎運動公園内のテニスコート、プールのLED化 ・約53,004kgのCO2削減	目標	-	・実施設計155灯 ・整備工事48灯	約53,004kg		
		実績	-	・実施設計155灯 ・整備工事48灯	約53,004kg		
	西崎運動公園大型照明施設省エネ化工事の完了	目標	-			完了	
		実績	-			完了	
	・西崎プールボイラー省エネ化実施設計委託業務の完了 ・西崎プールボイラー省エネ化整備工事の完了	目標	-				完了
		実績	-				完了

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			○年度	○年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
	西崎運動公園大型照明施設省エネ化によるCO2を年間180,000kg削減		目標					180,000kg
			実績					205,327kg
	西崎運動公園内ボイラー省エネ化によるCO2を年間約46,000kg削減		目標					46,000kg
		実績					78,911kg	
状況説明		【R2年度】 ・西崎運動公園大型照明施設省エネ化によるCO2年間削減量は205,327kgとなり目標を上回っている。 ・西崎運動公園内ボイラー省エネ化によるCO2年間削減量は78,911kgとなり目標を上回っている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・事業を実施したことによりCO2の削減に効果を発揮しており、本市が進めるエコへの取り組みが推進される。				【R2年度】 ・年間の施設使用状況により数値の変動があることから、引き続き年間のCO2削減効果を検証していく必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・省エネの取り組みをPRする必要があるため、省エネされていることをPRを行うための看板の設置、本市ホームページや広報誌へのCO2削減量の掲載などを検討する。								